

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2001-278034(P2001-278034A)

【公開日】平成13年10月10日(2001.10.10)

【出願番号】特願2000-91705(P2000-91705)

【国際特許分類】

B 60 T 13/52 (2006.01)

【F I】

B 60 T 13/52 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月25日(2006.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車体のダッシュパネルに取付ボルトにより固定されるブレーキ用気圧式倍力装置であって、

前記ダッシュパネルを挿通して車室側に突出する部分に、前記ダッシュパネルに仮固定するための係止手段を設け、該係止手段により固定した後に前記取付ボルトにナットを締結して本固定することを特徴とする気圧式倍力装置。

【請求項2】

車室側に突出する部分が、シェル本体に設けた取付用ボルトの少なくとも1つであることを特徴とする請求項1に記載の気圧式倍力装置。

【請求項3】

車室側に突出する部分が、シェル本体のバルブボデー挿通筒部であることを特徴とする請求項1に記載の気圧式倍力装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、車体のダッシュパネルに取付ボルトにより固定されるブレーキ用気圧式倍力装置であって、前記ダッシュパネルを挿通して車室側に突出する部分に、前記ダッシュパネルに仮固定するための係止手段を設け、該係止手段により固定した後に前記取付ボルトにナットを締結して本固定することを特徴とする。

このように構成することで、係止手段がダッシュパネルに係止され、気圧式倍力装置を水平な状態でダッシュパネルに仮固定した後に本固定することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

【発明の効果】

本発明のうち請求項1に記載の発明によれば、気圧式倍力装置のダッシュパネルを挿通して車室側に突出する部分に係止手段を設け、該係止手段をダッシュパネルに係止させたので、取付用ボルトが車室側に一定の姿勢となるように気圧式倍力装置を車体に仮固定することができ、その後に本固定することができて産業用ロボット等を用いた自動機による組付けに対応することができる。また、ペダルプラケットの組付けが容易になり、組付け作業の効率を向上させることができる。さらに、取付用ボルトのねじ部がボルト挿通孔に挟られて破損してしまうようなことがない。